



ボードゲームを活用し、ケーキを販売する社長として経営の疑似体験を行います。
ゲームの中で、複式簿記を使って帳簿を記入し、終了後には子供でも決算書が作成できるというこれまでにないゲームです。

- ・経営を体験することで、社会の仕組みやお金について子供自身が考え、興味を持つようになります。
- ・計算を行うので算数のトレーニングもできます。
- ・自身で考え決断しながらゲームが進行するため、主体性を成長させることができます。
- ・グループワークでコミュニケーション能力も身につきます。
- ・集中力だけでなく、毎回成果をみることができ、達成感を得る喜びが成長を促します。

勉強を好きになって欲しい!! 将来しっかり自分で歩んで欲しい!!と願うお父様・お母様を応援!!

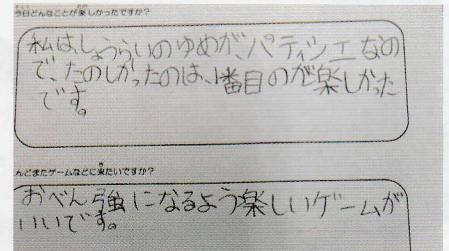
【メディアへの掲載実績】

Yahooニュースへの掲載（6回）、長崎経済新聞、ラジオ出演（長崎・埼玉県）、長崎新聞、西日本新聞、長崎ケーブルテレビ（なんでんカフェ）

【参加された方の声】

5. 社長 BOKI ゲームを体験した感想をお聞かせください。

楽しみながら「数字」に触れることができ、関心を持つことができました。
前のめりになってゲームを楽しんでいた。



※大人・子供さんのアンケート(掲載許可のあるもの)

前回開催のアンケートリピー率は100%

主催者よりメッセージ

～学校ではない学びがここに～

私はこれまで 1500 人以上に対して、ビジネスに関する教育を行ってきました。
その中でも最も力を入れているのが、子供から大人までを対象とした「お金の教育」となります。

これは、日本のお金に対する教育が世界に比べ遅れており、学校や家庭において十分に教えることが出来ていない現状があるからです。そこで、お金について理解して欲しいという思いから、取り組み始めたのが「社長 BOKI ゲーム」となります。

～21世紀を生き抜く力～

現在、キャッシュレス化が進み、実際のお金に触れる機会が以前よりも減少しています。
お金の価値やその増減などを体感することが難しい今、「お金の教育」はより重要になるのです。

これより、今回のイベントでは「社長 BOKI ゲーム」という遊びを通して、「お金」のことを知るだけでなく、自身の頭で考えながらお金を使う力を身につけていきます。



Asサポート
代表 下釜綾子

「長崎大学経済学部 藤井研究室」との共同企画



今回のイベントは、長崎大学経済学部の「藤井研究室」との共同企画です。
このゼミは、地域の企業と連携して、学生の主体性や問題解決能力を育む授業の一環としてAsサポートの事業の一環であるゲームの開催企画を進めてきました。
当日は、学生も大学で学んだ専門知識に基づき、子供たちに寄り添いながらサポートします。
どうぞ、楽しみながら子供達が、社会の仕組みやお金を知るきっかけとなる1日にしてください。